

# アクオス4K有機ELテレビ リビングを劇場に、

4K有機ELテレビも、シャープのアクオス「ES1」ラインなら、明るくて高精細。  
音質や使い勝手も妥協なく、リビングに最適な完成度の高いテレビとして、VGPアワードでも「金賞」と「企画賞」に輝きました。



# 「ES1」ライン スタジアムに変える

## 4K有機ELテレビ SHARP ES1ライン

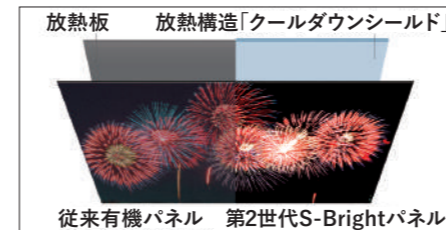
¥OPEN 65V型 / 55V型

SPEC ●チューナー：BS 4K・110度CSデジタル4K×2、地上デジタル×3、BS・110度CSデジタル×3 ●パネル方式：有機EL ●画素数：3840×2160 ●音声実用最大出力：80W ●HDMI：4系統 ●外形寸法：1448W×895H×304Dmm(65V型) / 1227W×770H×304Dmm(55V型) ※いずれもスタンド含む ●質量：約35.5kg(65V型) / 約29.0kg(55V型) ※いずれもスタンド含む



受賞理由<AQUOSシリーズのテレビとレコーダーに搭載された、AIオート画質モードに対して>

### シャープだけのオリジナル高画質・高音質技術



#### 明るい「S-Brightパネル」

最新の発光素子と発光の妨げとなる熱上昇を効率的に抑える放熱構造「クールダウンシールド」を装備。液晶やMiniLEDの開発で培った映像技術「Sparkling Drive EX」回路との掛け合わせで、有機ELテレビとしては望外の明るさを実現しました。



#### AI高画質「Medallist S3」

1,000,000以上の映像パターンを学習したAI高画質プロセッサを搭載した画質処理エンジン「Medallist S3」を採用。映像に含まれるオブジェクトだけでなく、放送ジャンル情報も踏まえて画質を最適化する「AIオート画質モード」の効き味に、高い評価が集まりました。



#### 臨場感のある音「ARSS +」

画面の上下に配置された11個のスピーカーで、ドルビーアトモスの包み込まれるような立体音響を再現できるサウンドシステム「AROUND SPEAKER SYSTEM PLUS (ARSS +)」も「ES1」ラインならではの魅力。とりわけ斜め前に音を放出するハイトスピーカー群が効果絶大!



## シャープ独自の技術とアイデアが盛り込まれている

VGP審査副委員長 鴻池賢三

じっくりと映画の映像美を堪能したいユーザーなど、マニアも納得の「高画質テレビ」として認知が広がってきた「有機EL」ですが、実は、技術の進歩により、その位置づけは変わりつつあります。シャープの有機ELテレビ「ES1」ラインは、映画などに最適な引き締まった黒の表現だけでなく、独自技術による明るい映像で、リビングで見ている普通の番組も、よりキレイに楽しめます。また、「エンターテインメント&ライフアシスタント」を打ち出し、画質と音質のみならず、使い勝手のよさも追求されています。VGP2023では、画質性能が高く評価されて部門金賞を獲得したほか、ユーザーフレンドリーなコンセプトとその実力が認められ「企画賞」が授与されました。

有機ELテレビの一步先を行く「ES1」ライン。その魅力をご紹介します。

テレビの2大方式といえば、「液晶」と「有機EL」。これまで、液晶

は日中の明るい部屋で鮮明な映像を、有機ELは照明がある程度まで抑えた環境で最高峰の高画質をと、それぞれの得意分野があるのは事実でした。しかし、「ES1」ラインは、シャープが独自開発する第2世代高輝度有機EL「S-Brightパネル」により、リビングユースにも適する明るい映像を実現。人気の「液晶AQUOS」を長年愛用してきたユーザーが有機ELの「ES1」ラインに置き換えても、満足のいく明るく鮮明で色鮮やかな映像美を楽しめるというわけです。この高輝度性能は、輝度性能に優れた最新の発光素子を採用した有機ELパネルに対して、シャープが独自に設計したアルミ製の高放熱プレート「クールダウンシールド」を組み合わせることで実現しています。

画質面では、シャープが8Kモデルで培った技術を応用した最先端の映像エンジン「Medallist S3」と各種自動調整機能を搭載した「AIオート画質モード」との相乗効果がポイント。ユーザーが意識するこ

となく、映像はきめ細やかに自動調整され、明るい有機ELの高画質性能を最大限に引き出してくれます。

スピーカーシステムも「AROUND SPEAKER SYSTEM PLUS」に進化。画面の上下にスピーカーが配置され、画面とサウンドの一体化および音に包み込まれる「サラウンド感」を向上。サウンドバーを追加することなく、テレビ単体でシンプルに本格的な体験が可能になっています。

使い勝手の面でも様々な工夫が。画面のスイーベル機能を備え、たとえばリビングに設置したテレビをキッチンからも見やすく角度を調整できるのはもちろん、背面の掃除がしやすいというメリットも。回転ロック機能や市販の耐震マットが取り付けやすいなど、安心安全への配慮もうれしい機能美です。ほか、リモコンなしで音声操作でチャンネル変更ができたり、シャープ製家電製品との連携機能など、生活をより快適にしてくれる機能が満載です。

実際に製品に触れて、画質と音質に感心させられました。映像は明るさアップにより、光の輝きを眩いばかりに再現し、光沢や質感も増してリアリティーがアップ。また、放熱性能を高めたパネル構造により、

輝いた部分の残光が少なく、均質に沈み込む黒の深みが、肉眼で実世界を眺めるようにナチュラル。有機ELが得意とするコントラスト表現がまた一歩進化したようです。映像のシーンやコンテンツのジャンル情報により画質を最適化する「AIオート画質モード」も体験。ニュースやドラマでは登場人物の表情が透き通るように心地よい色味で再現。サッカーの試合では、芝生の緑が鮮やかに映え、また、有機ELならではの残像の少なさも併せて、解像度の高いリアルな表現は圧巻。全身が包み込まれるサラウンドサウンドと併せ、スタジアムに居合わせたかのような臨場感により、高揚感をアップしてくれます。音楽ライブの視聴もお薦めです。基本に立ち返ってツイーターを前向きに設置し、クリアで抜けのよいサウンドは、聴き疲れしない高音質。音楽も美しく、当然、日常のテレビ番組や映画のセリフもクリアに届きます。

進化した有機EL高画質の「ES1」ラインなら、平日はニュースやドラマを鮮明に、休日はゆっくり映画、ドラマ、スポーツを超高画質で堪能。しかもAIオートで常に最適な高画質で。画質に拘り、家族みんなが使いこなせる使い勝手の良いリビングのテレビとして、最適解のひとつといえるでしょう。